



【アデノウイルス感染症】…「夏かぜ」と呼ばれるものの一つです

【病原体】 アデノウイルス 【潜伏期間】 5～7日

【主な症状】

- 扁桃炎** 扁桃に白苔が付き、3-7日高熱が続きます。
- 咽頭結膜熱** 5日間程度の高熱、咽頭の著明な発赤・結膜の充血と眼脂
- 胃腸炎** 嘔吐、下痢、発熱

【治療方法】 特効薬はありません。基本的には対症療法（症状に対しての薬を内服）

【登園・登校について】

咽頭結膜炎の場合は、熱などの主症状が落ち着いてから、2日経過後から可能です。他は症状が落ち着き、全身状態が良ければ可能です。

【再診について】 症状がよくなれば、再診の必要はありません。



【溶連菌感染症】

【病原体】 A群β溶連菌 【潜伏期間】 2～4日

【主な症状】 発熱・咽頭痛・発疹・イチゴ舌

【治療方法】 抗生物質1週間～10日程度の内服、その他症状に対しての薬の内服

【登園・登校について】

抗生物質を医師の指示通りに内服しており、熱などの主症状が落ち着けば可能です。

【再診について】

腎臓への合併症の有無を確認するために、3～4週間後に尿検査をしましょう。採尿の容器をお渡ししますので早朝尿を持ってきてください。（特に症状がなければ、ご家族の方が尿を持ってきていただいてもいいです。）



☆☆その他の夏かぜ☆☆

【ヘルパンギーナ】

症状…発熱、咽頭痛、のどに水疱

【手足口病】

症状…微熱、手・足・口に小さな水疱、咽頭痛

【治療方法】

ともに特効薬はありません。基本的には対症療法になります。

【登園・登校について】

出席停止にはなりませんので、本人の状態によって登園・登校の判断をします



☆☆看護のポイント☆☆

【発熱があるとき】

- ・寒気があり、手足が冷たい場合…体を温めます。まだ解熱剤は使用しないでください。
- ・寒気がなく、手足が温かい場合…体を冷やしてください。場合によっては解熱剤を使用してください。

【飲食について】

- ・脱水に気を付け、水分を少しずつこまめにとってください。
- ・口の中が痛い時は、刺激にならないうす味の、のど越しがよいものを食べさせましょう。



【入浴について】

- ・熱があっても、38℃以下で元気があれば、シャワー程度か長湯をしなければかまいません。

今月の絵本

たなばた 君島久子 再話 初山 滋 画

7月7日は「たなばた」です。夜空の美しい星を見上げる前に、ぜひこの本を読んでください。うしかいとおりひめのちょっと切ない物語……。星たちの輝きから、家族の絆も感じられるような1冊です。



おしらせ

暑くなってきましたね!!
熱中症に気を付け、こまめに水分を摂るよう心がけましょう(^o^)/



次回のテーマは「熱中症について」の予定です。

☆☆おたのしみに☆☆